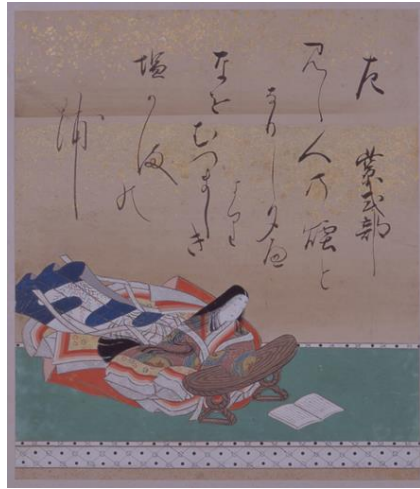


【主な展示資料】



女房三十六歌仙図画帖（にようぼうさんじゅうろつかせんずがじょう）より紫式部（むらさきしきぶ）

江戸時代中期 齋宮歴史博物館蔵

平安時代と鎌倉時代のすぐれた和歌の詠み手、女性36人の画像と代表的な歌を色紙に描いた画帖。

和歌は、「見し人の けぶりとなりし タベより 名ぞむつましき 塩釜の浦」

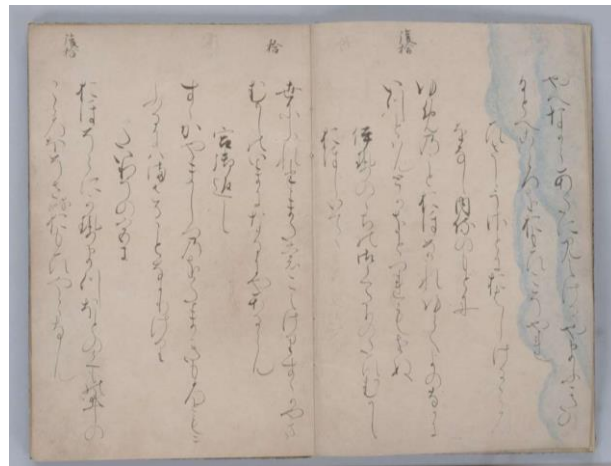
（夫・藤原宣孝の死後、この世のはかなさを嘆いていた紫式部が陸奥国の名所絵を見て詠んだ歌）



源氏物語図貝桶（げんじものがたりずかいおけ）

江戸時代中期 齋宮歴史博物館

源氏物語の場面が描かれた、合わせ貝を入れる桶



三重県指定有形文化財 齋宮女御集 正般本（さいくうにようごしゅう しょうはんぼん）  
室町時代 齋宮歴史博物館  
室町時代の僧正般（しょうはん）が所蔵した齋宮女御（徽子（よしこ）女王）の歌集



源氏物語図屏風（げんじものがたりずびょうぶ）  
江戸時代前期 齋宮歴史博物館  
金雲を散らした中に、源氏物語の桐壺（きりつぼ）・若紫（わかむらさき）・賢木（さかき）・  
紅葉賀（もみじのが）・野分（のわき）・若菜（わかな）の6場面を描いた屏風